

業務名

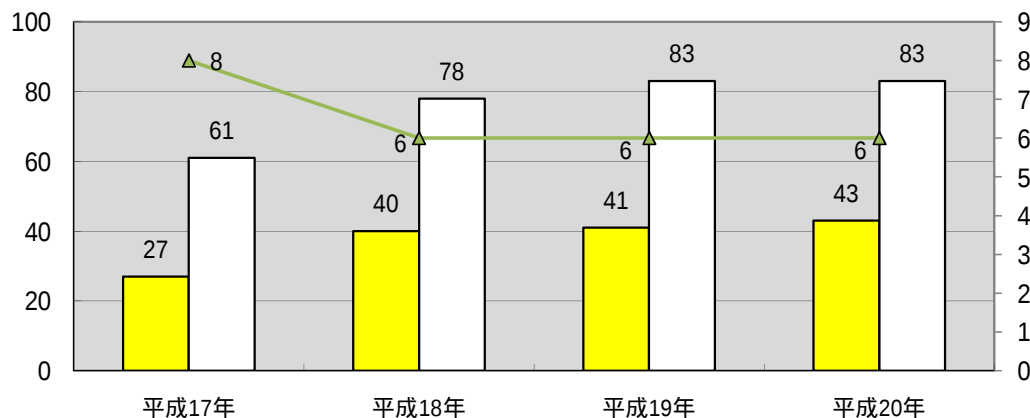
警察施設の整備

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
交番、駐在所の建て替え状況	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	8	6	6	6	戸
交番、駐在所の充実度（バリアフリー化率）	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	27	40	41	43	%
警察署耐震化率	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	61	78	83	83	%
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位

統計数値は、年度末の数値

■ 交番、駐在所の充実度（バリアフリー化率）
 □ 警察署耐震化率
 ▲ 交番、駐在所の建て替え状況



○業務の主なコスト

No	事 業 名	平成20年度事業費（千円）	平成21年度事業費（千円）
1	施設運営費	463,644	489,120
2	警察本部庁舎維持管理費	129,783	126,187
3	警察官駐在所等整備費	45,225	84,113
4	庁舎等施設整備費	30,618	236,656
5	警察署庁舎整備費	1,818,958	1,273,616
6	犯罪抑止の最前線拠点整備事業費	113,175	138,275
7	災害警備対策費	28,262	47,739
合 計		2,629,665	2,395,706

○平成20年の取組み

- 警察学校本館・道場棟の設計を終了した。
- 松阪警察署の建替整備工事が3年目に入り、庁舎建設工事に着工した。鳥羽警察署の建替整備工事は、2年目に入り、設計、造成工事に着手した。また、津南警察署の県久居庁舎を利活用した改修工事については、2年目に入り、一部改修工事に着工した。
- 四日市北警察署の非常用発動発電機の改修工事を実施し、防災活動拠点としての機能充実を図った。
- 交番・駐在所を地域の「生活安全センター」として十分機能させ、県民の安全・安心のよりどころとなる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置に配慮しつつ、犯罪多発地区を重点に、1交番5駐在所の建替を行った。

○課題と平成21年の取組み

- 警察学校本館・道場棟の実質的な工事に着工する。平成21年度末の供用開始を予定している。
- 松阪警察署は、平成21年7月6日に供用を開始し、9月末の全工事終了に向け、整備を進める。津南警察署は、平成21年度中の供用開始に向け、整備を進める。鳥羽警察署の建替整備については、3年目に入り、設計、造成工事を終了する。
- 伊勢警察署の非常用発動発電機の改修工事を実施し、防災活動拠点としての機能充実を図る。
- 交番・駐在所を地域の「生活安全センター」として十分に機能させ、県民の安全・安心のよりどころとなる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置に配慮しつつ、犯罪多発地区などを重点に、2交番4駐在所の建替を計画している。